

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

別紙 1

都道府県名	福岡県	事業実施主体	福岡県、小郡市、久留米市	地域再生計画名	人・自然・地域をつなぐ広域まちづくり計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	小郡市 都市建設部 道路建設課長、久留米市 農政部 農村整備課長		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標 1	アクセス改善 (九州歴史資料館から鷹取山までの所要時間短縮)	80分	H26	77分	H29	78分	70分	H31	△	当初計画よりも市道整備が遅延しており、現状では目標を若干下回る。
	指標 2	ふれあいの家北筑後利用者の維持 (ふれあいの家北筑後年間利用数)	5,600人	H26	5,600人	H29	4,600人	5,600人	H31	△	H29年度公表（H28年度実績）の利用者数は、4,600人であるが、熊本地震の影響により利用者数が減少しており（施設管理者へ聞き取り）この数値と安易に比較する事が出来ない。しかし、H28年度公表（H27年度実績）の利用者数は、5,600人である為、概ね利用者数は維持されたと考える。
	指標 3	人口の維持及び増 (久留米市人口) (小郡市人口)	30.6万人 5.94万人	H26	30.6万人 5.96万人	H29	30.6万人 5.96万人	30.6万人 6.00万人	H31	○	中間目標値について両市ともに目標値を満たしている。
	指標 4	林道危険箇所の改善	4箇所	H26	2箇所	H29	2箇所	0箇所	H31	○	危険箇所は目標どおりに改善されており、安全が確保されている。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況	指標 1	—									
	指標 2	—									
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
		計画	中間年度 (H29)	最終実績 見込み							
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	1.13km	0.06km	1.13km	H27年度より3路線中1路線の市道整備を進めていたが、暫定供用とした為、計画よりアクセス改善が遅れている状況である。残り2路線については、H29年度に行った土質調査の結果に基づき、H30年度より市道整備を進める事としており、今後は残り2路線を含め市道整備を進める事で目標の達成に近づける。						
	林道整備事業（危険箇所改善）	4箇所	2箇所	4箇所	林道整備により、危険箇所が減少し森林へのアクセス改善が図られている。今後ともより一層の効果をj得るため、引き続き整備推進に努める。						
その他の事業	市民との協働のまちづくり	市民との協働のまちづくり			久留米市、小郡市を含む圏域の市民活動担当部局で、今後のまちづくりの担い手となる市民活動団体に関する情報の共有化を図っている。また、今後も自治体を越えた団体の活動や相互交流の推進が期待される。						
	広域観光振興の推進	地域資源を活用した圏域の多彩な魅力のPRの実施。			久留米市、小郡市を含む圏域の魅力発信し、交流・移住人口の増加と特産物のPR等を目的として、アンテナショップ『福岡 久留米館』（東京都港区）がH29.7にオープンしている。今後も当該施設を通じて広域観光振興の推進が期待される。						
計画外で独自に実施した事業	—	—									
	—	—									
④評価方法	計画に記載の数値目標に対する中間実績について評価を行った。										
⑤中間評価の公表方法	小郡市、久留米市のホームページに掲載。										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画は、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に実施しているが、市道整備は一部整備が遅延し、現時点では目標どおりのアクセス改善に至っていない。一方、林道整備による危険箇所の改善は計画どおりに進行している。引き続き、計画に基づく整備推進に努めることにより、地域住民の利便性が向上され、かつ、地域の豊富な観光資源を活かし地域住民と来訪者が交流する機会が創出されることを目指す。										
⑦今後の方針	各事業ごとに最終目標到達に向けて取り組み、広域的なネットワークを構築することで、更なる整備効果の増進を目指す。										